

第1章・ゆとり教育世代の子どもの文化

親のやる気 子のやる気

〇〇10

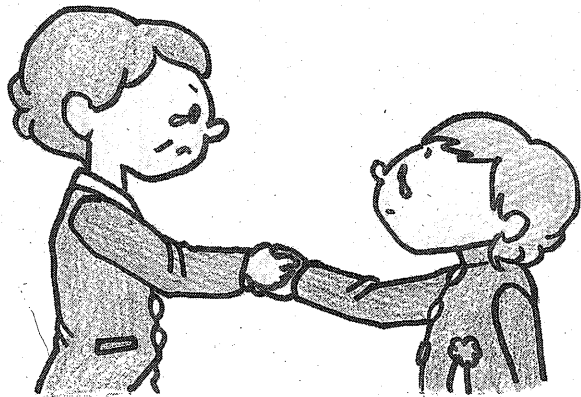


「今日塾ありますか」と突然、私の携帯に高校生の塾生からメールが来ることがあります。『投げ込みメール』でも呼びたくなるような、とらえ方によっては甚だ失礼なメールです。タイトルはもちろん「無題」であり、本文は用件のみ。いき

経験値

なり家の中に踏み込まれ、用件を突きつけられたような気がします。また、「説明会、おれの親行かないそうです」や「今日相談したいとメールしていたんですが、本日塾休みます」等々、メールで済ませられる内容だろうかと首をひねってしまふものも少なくありません。大人同士だったら「お世話になってます」や「お疲れさ

自分の出し方考えよう



by yoriko

目上との付き合い方未熟

私たちは「あっ、すみません。メールを読んで確かかと思っただけです」と真顔で聞いてきました。後でお母さまに伝えたら、「昨日キヤッチホンを解約したからです。子どもの安全が最優先であるのはもちろんですが、一方で子どもを送迎する機会が増え、固定電話よりも携帯電話が便利になりました。しかし、親子が常時接続状態では子どもの経験値は上がっていきません。例えば、「お母さん、迎えに来て」と電話し

ようとしたら話し中でつながらず、散々待たされた揚げ句「なに長電話してんだよ」と文句を言ってきたとしたら、「大切な話なの。子どもが出る幕じゃないの!」とそこで一喝を挿んでみたらいかかでしょうか。携帯が標準、メールで事が足りるライフスタイルの中、逆につながっていると実感し、自分の出し方を考える機会にもなるはずです。

(畑山篤志学塾塾長)

労働環境
出る前に
おいて
めた高校
やNPO法
用を呼び



千葉県立
市花見川区
諭五五は数
学習の時間
組んできた
イト体験を
り、給与明
って見比べ
参加型の授
す。「生徒の
う。質問も
科の)日本
いくらいと
驚いたのは
アルバイト
遭っていた
ビス残業さ
割増や有給
い。試験前
せないケー
校生が都合
されている
「働くため
と、おかし
上げられない
業の成果を
「絶対トク
ト術」(きよ

教育

ニュース なぜなに

どん下がるデフレが続
き、もつかる会社は少
くなっています。そこ
で、労働組合は、社員全
員の給料を底上げする
「ベースアップ(ベア)
はあきらめました。
代わりに、「定期昇給
(定昇)とくって、社員
回りました。



カーの経営者の代表